

**製品名: PTPN6 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81608**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	67.6kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PTPN6
別名	HCP; HCPH; SHP1; SHP-1; HPTP1C; PTP-1C; SHP-1L; SH-PTP1
遺伝子 ID	5777.0
SwissProt ID	P29350
免疫原	大腸菌で発現したヒト PTPN6 (AA: 243-541) の精製された組み換え断片。

**背景**

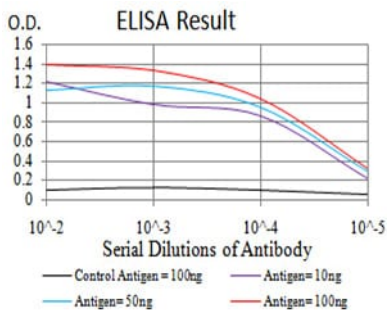
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、タンパク質チロシンホスファターゼ (PTP) ファミリーのメンバーです。PTP は、細胞の成長、分化、有糸分裂周期、および癌化を含むさまざまな細胞プロセスを制御するシグナル伝達分子として知られています。こ

の PTP の N 末端部には、タンパク質リン酸化チロシン結合ドメインとして機能し、この PTP とその基質との相互作用を媒介する 2 つのタンデムな Src ホモログ (SH2) ドメインが含まれています。この PTP は主に造血細胞で発現し、造血細胞における複数のシグナル伝達経路の重要な調節因子として機能します。この PTP は、造血細胞のシグナル伝達に関与する広範囲のリン酸化タンパク質と相互作用し、脱リン酸化することが示されている。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシングバリエントが報告されています。

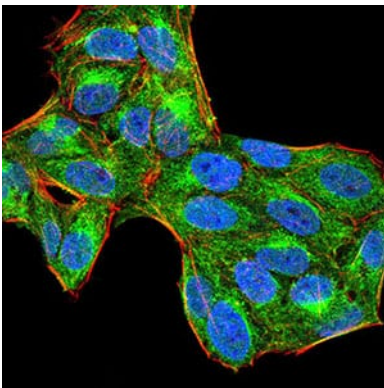
## 研究分野

Jak-STAT シグナル伝達経路

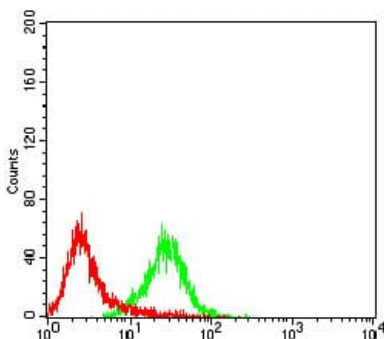
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



PTPN6 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



PTPN6 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Raji 細胞のフローサイトメトリー分析。